

令和7年度 公民館事業評価

☆臼井公民館 公民館運営審議委員意見

事例発表：千葉のおばちゃんー東京向け野菜行商の歴史とその特色ー

ジャンル：成人教育

委員①	
総合評価	A

委員②	
総合評価	A
<ul style="list-style-type: none">・昔を懐かしむ世代にとっては、とてもうれしい企画であったと思う。・この講座から、今後どのように地域学習への関心を広げていくかが課題である。	

委員③	
総合評価	B
<p>このように学術的なテーマで公民館講座を開催することの様々な可能性を感じた。興味関心がある方がいらっしゃることを念頭に、企画することの大切さを感じた。</p> <p>様々なテーマを取り上げることは可能である反面、何を取り上げるかが、講師の存在の有無や企画者の感覚や経験知に影響されるだろうと推察される。企画者の企画力向上がカギになると思われる。</p>	

委員④	
総合評価	A
<p>参加者が若い頃に見た光景が思い出され、その当時のことを懐かしく感じたことだと思います。参加した方にとっては有意義な時間になったと思います。</p>	

委員⑤	
総合評価	A

委員⑥		地域の歴史の一端を行商という観点から考察し、戦前から戦後の農業の考え方を学べる講座は、講師が長年収集したり聞き取り調査をされてきたものだけに説得性のある講座でした。渡し舟や鉄道会社との関連など近郊農業としての始まりの歴史から行商の終焉に至るまでの講座は地域史の一環として今後も続けていただきたいと思います。
総合評価	A	

委員⑦		テレビをはじめ多くのマスコミが取り上げる戦前戦後を通じて京成線沿線の重要な生活遺産で、時代の変遷とともに消えざるを得なかったのは今更ながら残念です。東京下町を舞台に活躍した行商のおばさんたちの暮らしぶりは、小規模多品種を生産する沿線の畑風景を物語ると言われます。車内で実際に目にしたのは、自分が持ち合わせてない品物を、車内で互いに交換しながら調達していく様子でした。下車駅までの車内はさながら、開店前のスーパーの品出しと販売促進の研修風景のようでもありました。可能なら、実際に荷を担いだ経験者、あるいは家族の声が聴けたらと思います。この講座を通じて新たな写真や映像が発掘されたらと願います。
総合評価	A	

委員⑧		<ul style="list-style-type: none"> 千葉のおばあちゃんの野菜行商の歴史と特色を扱った、素晴らしい内容の講座への参加応募が42名は納得です。雪のため欠席された方も残念だったと思います。私も是非行きたかったです。（残念でした） 公民館ならではの内容を講座の中で紹介し、参加者の郷土への理解を深める良い機会になったことと思います。郷土愛も深まったかもしれません。 臼井地区は、人口も多く、転入された方も多い地域です。歴史を学ぶ機会は是非継続して欲しいと思います。
総合評価	A	

委員⑨		特にありません
総合評価	A	

委員⑩		平日ではないことで、シニア以外の参加者も多く、高い関心がうかがえる良い企画と思います。地域の生活文化の変遷が大変興味深いです。調査過程のお話や豊かな知識を持つ講師のお話は次の講座への意欲につながるように感じました。
総合評価	A	

委員⑪		公民館主催の講座としては、地域の歴史を振り返り懐かしむことは有意義だと思います。しかし、公民館の評価事業としてのテーマとしては、講師の長年の研究成果を紹介するための事業と思います。公民館と参加者、そして講師が共同して実施するテーマを評価事業に選定していただきたい。
総合評価	B	

委員⑫		総合評価	B	失われた地域の歴史を掘り起す講座は、ある意味公民館の看板講座である。また地域特有の歴史として、佐倉に於いてすら本内容を実施する意味のある公民館は臼井公民館だけであり、望まれる講座であったと思われる。残念なことは、千葉の「野菜行商」は歴史的に二系統存在したため、講師が臼井に関係する京成線の話だけに終始出来なかったことで、受講者の理解が散漫になった可能性があることである。しかし、そのことは事前に把握できたはずであり、その対応策として企業側（京成電鉄）や受け取る都民生活がどの様に理解・支援・要望したか等を別講師に依頼する方法も有ったはずである。例えば鉄道史家の故白土貞夫氏や台東・墨田各区の郷土資料館学芸員等による二講師制である。

委員⑬		総合評価	A	地域の歴史資源の活用として行商の歴史を取り上げたことは良かったと思います。 参加者も多く、講師との双方向のやり取りを重視した点が評価できます。

委員⑭		総合評価	A	「千葉のおばちゃん（行商）」という、地域の発展を支えた身近な歴史をテーマに選定した着眼点を高く評価します。単なる過去の記録としてだけでなく、当時の女性たちの生活や工夫を学ぶことで、現代の地域コミュニティやジェンダー平等を考える視点を提供している点は非常に意義深いです。32名という多くの関心を集めていることから、今後もこうした郷土の魅力を再発見し、次世代へ継承するプログラムの継続を期待します。

委員⑮		総合評価	A	地元の人からつい最近まで東京まで野菜の行商に行っていた話を聞いていました。今でもある駅のホームにカゴ台があったりすると、千葉のおばちゃんを思い出します。 住民の教養の向上には大変良い講座だと思います。